

<p>①プロジェクトのタイトル</p> <p>②プロジェクト名称</p> <p>③応募者名</p>	<p>④プロジェクトのポイント</p> <p>1.</p> <p>2.</p> <p>3.</p>
<p>⑤コンセプト</p> <p>⑥プロジェクトの説明</p>	<p>⑦社会に与える影響を どのように意図したか</p>
<p>⑧写真（必須／使用シーンやデザインがわかるもの） その他アピールしたいこと・図やイラスト等</p>	

行政の課題を デザインで解決

「さがデザイン」

佐賀県政策部 さがデザイン担当

POINT

- 1 佐賀ゆかりのクリエイターと
県庁各課をつなぐハブ(拠点)となること
- 2 プロジェクトごとの
コンセプトを大切にすること
- 3 プロジェクトを進める上で、
それぞれの事業スキームを整えること

CONCEPT

さがをかえる しくみを考える

ABOUT

「さがデザイン」は、思想であると同時に仕組みでもあります。単に「見た目をよくすること」ではなく、地域や事業などが抱える課題の本質を正確にあぶりだし、その解決に向けてベストなアプローチを選択することで、佐賀県をもっと心地よくする、施策を磨き上げる視点です。地域づくりや地方創生などの正解のない課題に対して答えを出していくには、クリエイティブな尖ったアイデアが必要です。県庁組織のピラミッドの外に意思決定機能を持つ「さがデザイン」を置くことで、尖ったアイデアを外に出すことが可能になります。100名以上の佐賀ゆかりのクリエイターなどの専門家ネットワークから案件ごとに事業立案のアドバイザーや、プロジェクトへの参加を依頼。専門家と県庁内の事業部門の間に「さがデザイン」が立ち、両者をつなぐことで事業の実現をサポートします。

IMPACT

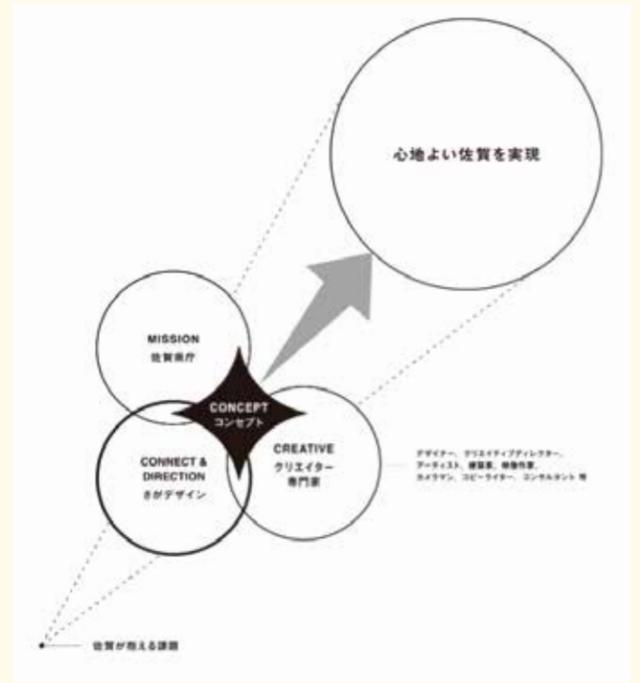
「物事の本質を的確に捉える鋭い視点」や「課題解決力」を持つクリエイターと県の職員が協働することで、プロジェクトの課題やコンセプト、事業スキームが明確になります。その結果、プロジェクトに関わるクリエイターや県の職員、県内企業、地域の方々など、誰もが同じ方向を向くことができ、プロジェクトが気持ちのこもったものになります。実際に県庁職員も「デザイン視点を取り入れて、より良い事業を構築し実施したい」というマインドに変化してきました。県政にデザイン視点を取り入れ、常に構想力、鳥瞰力を持つことで、変化し続ける今の時代を切り拓き、「心地よい佐賀」の実現を目指しています。

さがデザイン
さがをかえる しくみを考える



ODORIBA

さがデザインのオフィス兼打ち合わせスペース。地域にゆかりのあるデザイナーや建築家などのクリエイターとネットワークを構築、外部との協働でさまざまなプロジェクトを担当課と一緒に伴走



SAGA BLUE PROJECT

交差点のカラー舗装をはじめ、デザインの力によって県民の意識改革と交通事故防止を目指すプロジェクト



レイクサイド北山

北山湖周辺のアクティビティを見直し、79スタイルを楽しめるキャンプ場のリニューアル等を行い新たなファン層を獲得



九州佐賀国際空港リノベーション

「HELLO SAGA DESIGN」を合言葉にラウンジや観光案内所などを大きくリノベーションし普段使いしやすい空港に



SAGA Design Crossing

さがデザインのこれまでの事例を交えながら、デザインが持つ力などを語るクロストークを展開